カリキュラムマップくリハビリテーション学科作業療法専攻>

「誠意と親切と広い心」を理念に、医療の基本的精神である科学と人間愛に基づき、医療の知識と技術向上に努め、地域医療福祉等に貢献できる人材を養成する。 建学の精神

リハビリテーション学科作業療法専攻…深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化・多様化する医療・福祉に相応し得る次の知識・技術及び実践力をもつ作業療法士を養成する。

①一般教養と作業療法領域の専門知識、技術及び実践力を養う。②高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を養う。③生命の尊重と人間愛に基づく行動とチームと協働する良好な人間関係を築ける能力を養う。

※ディプロマ・ポリシーの番号は、P2の該当番号。

	及	生とコミュニケー	ダニンパ、おり 算重した人間関 、作業療法を												4(4) 向上心と探 究心をもって 職務を実践 できる。			
ーぐいホ・アコマ・ポリシー	作業療法專攻	4(1) 棚かな人間(*, *, *, **, **, **, **, **, **, **, **	(1) なん間性とコミュニケー 豊かな人間性とコミュニケー コン・海がを身につけ、お互 いの工場を発棄した、情関 係を検索して、作業療法を 実践する。				(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4											
										4(2) 一般教養と 作業療法	領域の専 門知識、技	術及び実 践力をも	n°					
	全学方針	1(1) 全学共通の教養 科目の覆修を通	本業療法の基礎 (12) (12) (14) (14) (14) (15) (15) (16) (16) (17) (17) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18															
学習成果		((1) 金学井通の参議 会学井通の参議 中の (1) 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20				作業療法の基礎 知識・他力の修 等								作業療法の知識 応用力・専門職 コミュニケーショ ン能力・実践力 の修得				
3年次	後期													作業療法学総合演習 I (専門) 市業療法総合セミナー国 (評価とカス②)		臨床実習び(総合後期)		
	頭堤		生命倫理学										卒業研究	作業療法學総合演唱 I (基礎) 作業療法総合に5ナー I (評価と介入(3))	地域作業療法学I(実践·就労支援)	臨床実習工(総合前期)		
2年次	後群													老年原籍學學 中成者經濟學學 中成才能經濟學學 內部機能經濟學 內部機能經濟學 所用出於所學演閱 精神釋傳學 (合論) 所用出於希學演閱 精神釋傳學 (合論)	度·支援·連携)	評価実習前セナー 臨床実習 I (評価)		
	職垣							運動学演習		内科学 整形外科学 神経内科学 小児科学			作業療法研究方法論 作業療法評価学 1 (身体機能) 作業療法評価学 1 (身体機能) 作業療法評価学 1 (衛神機能·活動·環境) 作業療法評価学 1 (衛神機能·活動·環境)					
1年次	後期	情報科学 環境と人間	数 本体 単一体 単小 単小 手手	エニナーション学	英語 II (日常英会話) 英語 II (専門英語) ドイツ語 中国語	解剖学皿(神経系)	解剖学演習(体表解剖 筋)	生理学工(植物的機能) 生理学演習 臨床運動学		病理学概論 精神医学	J/vt・汀ーシシ医学 老年医学	社会福祉学 医療安全管理論		作業療法治療技術理論		臨床実習 I (基礎)		
	職福	生物学 物理学 化学 人間工学	社会学 人間関係論 ポシティア論	基礎演習 文章表現法	英語 1 (教養英語)	解剖学 I (骨·筋肉系)	解剖学 II(内職系) 解剖学演習(体表解剖 骨)		人間発達学			長携 保健医療論	作業療法診論 基礎作業學 基礎作業學					
町	I K	人間と科学	人間と社会	<u> </u>	外国語	人体の構造		人体の機能	心身の発達	疾病の成り立ち	障害の成り立ち	保健・医療・福祉の連携	基礎作業療法学作業療法評価学作業療法評価学	作業係法の領域の系統 別に対日を配置し、それ それの専門知識 技術 を発展的に高めるように する。	地域作業療法学	臨床実習		
教育目的に基づく カリキュラム・ポリシー	学科方針			~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		作業療法の基礎知識と 能力を修得するという。 大体の選挙、病気が、 社会構造などの利目を 配置する。							震楽、開議で、 はいまた できます できます できます できます できます できます いっぱい はい	作業療法の領域にと に、知識応用力・専門職 コミューケーション制 を修得し、実践能力を高 める実習科目を年次段 階的に配置する。				
教育! 力リキュ:	全学方針	全学方針 社会生活に求められる数 養・倫理・責任略及びコミュ ニケーション(都力を身につけ るため、全域に総合教育科 目を配置する。				4年間数 ・												

作業療法の実践力車門職としてのコミュニケーション能力作業療法の知識の応用力 臨床実習皿(総合前期)臨床実習耳(評価) 臨で学 臨床実習▷(総合後期) (和紙工芸・七宝・木工) 解剖学、生理学、運動学が基礎となる (陶芸·革細工·手芸) ·基礎作業学実習II ·基礎作業学実習I 作業療法の専門的知識 作業療法の基礎的知識 ·発達機能障害学 I (総論) ·発達機能障害学I(各論) ・作業療法総合セミナーロ 作業療法総合セミナーI 作業療法総合セミナー ·生活環境·福祉機器学 ·応用生活技術学演習 ·精神障害学I(各論) •精神障害学 I (総論) ·地域作業療法学 I -地域作業療法学工 評価実習前セミナー 整形外科系障害学 高次脳機能障害学 •臨床実習 I (基礎) ·中枢神経障害学 内部機能障害学 日常生活活動学 ·生活技術学演習 ·老年期障害学 ·作業療法総論 ·義肢装具学 ·基礎作業学 病気や障害に関する科目 ・リハドリナーション配挙 ·病理学概論 整形外科学 神経内科学 •精神医学 -小児科学 ·老年医学 ·内科学 生物学、人間工学が基礎となる ·解剖学演習(体表解剖 筋) ·解剖学演習(体表解剖 骨) 体のしくみに関する科目 ·生理学 I (植物的機能) ·生理学 I (動物的機能) ·解剖学 I (骨·筋肉系) ·解剖学田(神経系) ·解剖学I(内臟系) 生理学演習 ·運動学総論 ·臨床運動学 ·運動学演習 ·人間発達学 <リハビリテーション学科作業療法専攻> ・コミュニケーション学 ·医療安全管理論 •文章表現法 ·基礎演習 1 保健・医療・福祉分野の専門知識 人と人との関わり ·英語I(日常英会話) ·英語 I (教養英語) ·英語皿(専門英語) 基礎的な教養 ・ボレントィア舗 ·生命倫理学 ・環境と人間 · 人間関係論 ·保健医療論 ·社会福祉学 •情報科学 · 人間工学 ・ドイツ語 - 物理学 ・社会学 ・う単学 ·牛物学 -教育学 出国語 - 化學 小

豊かな一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を深く教授された、地域社会等に貢献し得る優秀な作業療法士

各科目がどのように関連しているかを理解して学習をすすめる。

到達目標評価項目(学習成果)および評価基準

<リハビリテーション学科作業療法専攻>

評価項目		評価基準			Wilting and wind the second
学習成果	3 (非常に優れている)	2 (優れている)	1 (基準に達している)	適用科目	学校としての学習成果の評価
教養・倫理・責任感及びコミュニケーション能力の修得	当該分野のGPA 2.50~4.00	当該分野のGPA 2.00~2.49	当該分野のGPA 1.00~1.99	生物学 物理学 化学 情報科学 人間工学 環境と人間 社会学 人間関係論 ボランティア論 哲学 教育学 心理学 生命倫理学 基礎演習 文章表現法 コミュニケーション学 英語 I (教養英語) 英語 I (日常英会話) 英語 I (李 英語) ドイツ語 中国語	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1~3のいずれに該当するか により評価。
作業療法の基礎知識・能力の 修得	当該分野のGPA 2.50~4.00	当該分野のGPA 2.00~2.49	当該分野のGPA 1.00~1.99	解剖学 I (骨・筋肉系) 解剖学 II (内臓系) 解剖学 II (内臓系) 解剖学 II (内臓系) 解剖学 ja ii (本表解剖 骨) 解剖学 ja ii (本表解剖 筋) 生理学 I (動物的機能) 生理学 I (副 物物的機能) 生理学 ja ii (計画) 连理等 ja ii (計画) 连连等 ja ii (计画) 连连等	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1〜3のいずれに該当するか により評価。
作業療法の専門知識・技術の 修得	当該分野のGPA 2.50~4.00	当該分野のGPA 2.00~2.49	当該分野のGPA 1.00~1.99	作業療法総論 作業療法研究方法論 基礎作業学 基礎作業学実習 I (和紙工芸、七宝、木工) 基礎作業学実習 I (和紙工芸、七宝、木工) 基礎作業学実習 I (和紙工芸、七宝、木工) 卒業研究 作業療法評価学版論 作業療法評価学 I (身体機能) 作業療法評価学演習 I (身体機能) 作業療法評価学演習 I (身体機能) 作業療法評価学演習 I (精神機能・活動・環境) 作業療法計動等 情報時間 記知症予動理論 指神障害治療論 日常生活・環境アセスメント論 を用り料系障害学中 高次能機能障害学 高次能機能障害学 高次能機能障害学 高次能機能障害学 等。 整形外長下。 電子等 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1~3のいずれに該当するか により評価。
作業療法の知識応用力・専門 職コミュニケーション能力・実践 力の修得	当該分野のGPA 2.50~4.00	当該分野のGPA 2.00~2.49	当該分野のGPA 1.00~1.99	正元禄、福祉版館中 臨床実習 I (基礎) 評価実習前セミナー 臨床実習 I (評価) 臨床実習 II (終合前期) 臨床実習 II (終合後期)	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1~3のいずれに該当するか により評価。